

2010 年度事業報告

全体総括

2009 年度が体制整備の年とするならば、2010 年度は事業充実の年でした。「東播磨生活創造センター『かこむ』」の指定管理事業、「生きがいしごとサポートセンター播磨東」の補助事業、「ふるさとコミュニティ・ビジネス創出支援事業」の委託事業がそれぞれ 2 年目を迎え、4 年目の「若者しごと倶楽部サテライト播磨」の委託事業も合わせて、各事業が本格稼働した 1 年でした。

特に、東播磨生活創造センター『かこむ』の運営事業においては、さまざまな講座やイベントを企画・実施しました。結果、入場者が 22 万人を越え、各施設の稼働率も飛躍的にアップする等、内容が充実しました。

また、「生きがいしごとサポートセンター播磨東」事業においては、社会性や公益性が高い組織への職業紹介を中心とした「NPO 就職・転職説明会」を開催し、法人独自の就労支援に関する手法を開発すると共に、職業紹介事業の方向性、しいては当センターの方向性を明確にすることができました。更に、若者の就労支援を中心に活用した「キャリアデザイン」を活用した相談手法も非常に効果的であるとの手ごたえを感じることができました。今後、独自のプログラム開発へと発展させていきたいと考えています。

このように、受託等の事業が充実する一方で、下記に挙げる本年度新たに取り組んだ事業等も充実したものとなり、法人の活動領域を広げることができました。

「すっきゃ加古川」とのコラボレーションにより、多くの市民を巻き込んだ、加古川総合情報誌「**Kako-Style (かこ・スタイル)**」の発刊を通じて、**ふるさと意識と当事者意識の醸成に寄与しました。**

「**NPO 法人会計基準協議会**」に加盟し、その基準策定のプロセスに参画すると共に、兵庫県下での普及啓発プログラムに積極的に関与し、**NPO 法人の情報開示の条件を整えました。**

兵庫自治学会において「**東播磨生活創造センターの運営を通じた NPO と県の協働の取組についての実証研究**」と題した小論文を発表しました。指定管理者制度を活用した公共施設の運営の展望と問題点についての提言をすることで、**指定管理者制度や公共施設のあり方についての議論活性化の一助**となりました。

県民交流広場事業へのサポートを中心に、地域活動との繋がりを広げる努力をしました。**地縁組織との連携の第一歩**を記すことができました。

障害者自立支援法に基づき、**障害者施設の運営形態移行へのサポート**は、法人等の経営そのものに大きく関わる重大なコンサルティング事業となりました。本年度、多くの移行手続きをサポートする中で、**障害者施設の経営基盤の強化に繋がるコンサルティング**ができたことは、当法人の相談業務の質の向上に繋がりました。

運営スタッフ幹部による合宿を初めて行い、法人の**中期ビジョン**を策定しました。**職員による運営力強化**が「次なる 10 年」に繋がると確信します。

以上が 2010 年度の全体総括です。詳細については、次ページからの各事業別報告をご参照ください。

特定非営利活動に関する事業

I. 市民活動を行う個人又は団体に対して、活動を活性化するための支援事業

1. コンサルティング事業

① 事務局代行事業 継続

内 容 各団体の苦手とする事務部分の代行を行うことにより、各団体の事務的な負担を軽減するとともに、相談業務を通して各団体のスキルアップを図った。

支援団体・支援内容

団体名	内 容
NPO法人加古川に桜を1万本植える会	2009年度事業報告・決算報告について
NPO法人ぐるーぷ架け橋創合文化村	2009年度事業報告・決算報告について
青少年のための科学の祭典・東はりま会場実行委員会	青少年科学の祭典2010開催に伴う広報物作成

② 出張講師事業 拡充

内 容 役員及び職員が講師やアドバイザーとして、外部依頼機関等へ出張し、講義や助言等を行った。



実施日・依頼機関・講義内容・派遣者名

実施日	依頼機関	内 容	派遣者名
5月31日	平岡町東地区町内会連合会	「地域のお世話約としての心得」	鍛冶秀郎
11月2日	明石北ロータリークラブ	「NPO法人について」	柏木登起
6月23日	ココロン小野クラブ	「地域力パワーアップ講座」	鍛冶秀郎
11月7日	財団法人兵庫県生きがい創造協会	「県民交流広場青空フォーラム」進行コーディネーター	柏木登起
11月18日	兵庫大学	「ボランティア講座」	柏木登起
12月10日	株式会社神戸新聞事業社	「『新たな公』活動団体による意見交換会」ファシリテーター	柏木登起
12月14日	NPO法人いなみ文化振興協会	「NPO法人とは・指定管理者とは」	田中 茂 柏木登起
12月14日	NPO法人子育てサポート☆きらりing	「私が歩んだ『風土づくり』の道（サービス一番を目指して）」	鍋田年康
12月18日	明石まちづくり市民塾	「市民活動・市民利用施設のあり方を考える」パネリスト	田中 茂
1月25日	いなみ野学園氷丘OB会	「元気の出るおもしろい話」	鍛冶秀郎
3月7日	香呂及び香呂南地区地域推進委員会	「香呂及び香呂南地区地域推進委員会学習会」	柏木登起
3月21日	NPO法人シンフォニー	「新しい公共時代のNPO、役割とその未来」パネリスト	柏木登起
通年 (年13回)	嬉野台生涯教育センター	「うれしの学園生涯大学地域活動実践講座」専任講師	柏木登起

③ 他団体の委員等就任、研究会等への参加 拡充

内 容 他団体からの依頼により、委員や研究会等へ役員及び職員を派遣した。

**依頼機関・役割・派遣者名**

依頼機関	役割	派遣者名
加古川市ボランティアセンター	運営委員	田中 茂
県民交流広場アドバイザーグループ	委員	柏木登起
NPOと行政との協働会議	幹事	田中 茂
BAN-BANラジオ番組審議会	審議委員	田中 茂
財団法人加古川市ウェルネス協会	理事	田中 茂
加古川市指定管理者選定委員会	副委員長	田中 茂
第12回踊っこまつり	審査委員長	田中 茂
2010おの恋おどり	審査委員	田中 茂

④ 小規模作業所移行研修事業 継続

内 容 兵庫県障害者支援課の補助事業として、東播磨地域の障害者小規模作業所が障害者自立支援法の新体系へ移行するための個別相談を実施した。

支援団体・支援内容

支援団体	支援内容
NPO法人福祉苑リーベの会	2011年4月1日～就労継続支援B型への移行支援
NPO法人加古川マインド	他団体との連携事業の提案
NPO法人すぎなの会	他団体との連携事業の提案
NPO法人なごみ	2011年4月1日～就労継続支援B型への移行支援
ビオトープ大国	一般社団法人化の相談及び地域活動支援センターへの移行支援
NPO法人たんぼ福祉会	経営全般に関する支援
NPO法人居場所	2011年10月（予定）～就労継続支援B型への移行支援
NPO法人明石あおぞら会	2011年4月1日～就労継続支援B型への移行支援
一般社団法人なかよし会	2011年4月1日～就労継続支援B型への移行支援
身体障がい者小規模作業所ハイドランジア	法人格の選定方法及び制度の概要説明

⑤ ひょうごボランタリープラザ「NPO交流サロン」事業 新規

内 容 当法人のスタッフを「NPO協働スタッフ」として、ひょうごボランタリープラザの交流サロンへ定期的に派遣し、相談業務等を担当した。

派遣回数 6月～3月までに32回



2. 情報収集・発信事業

① 地元FM「BAN-BANラジオ」との連携事業

継続

内 容 BAN-BANラジオの番組「Town-Beat（東播コンシェルジュ）」から、番組改編により「Step Up Friday（10月以降はStep Up Weekend）」となった番組内において、地元カルチャー情報やイベント情報の発信を行った。

実施日 毎週金曜日 12時～13時（4月2日のみ19時30分～21時）

紹介数 306件 放送回数51回



② ニッケレポスとの連携事業

継続

内 容 BAN-BANラジオとニッケレポスの共同番組「レポREPOスタジオ」に音楽活動を行う団体をコーディネートすることによって、地元で音楽活動を行う団体の活動情報を発信し、団体のPRにつなげた。

実施場所 ニッケレポス センターコート（加古川市加古川町）



実施日・コーディネート団体

実施日	コーディネート団体	実施日	団体名
4月24日	KID'S INCHWORM Dance school Tink	10月23日	加古川公民館 子ども琴教室 STEP☆UP
5月22日	Kakogawa Star's Children キッズダンス BE-YU	11月27日	KBCインターナショナルスクール 3B体操ちゃお♪
6月26日	高砂市少年少女合唱団 チームJ A M	12月25日	尾上聖愛教会 Studio New-Zy 加古川教室
7月24日	児童合唱団 ジョイフルジュニア ピピング&舞士	1月	実施なし
8月28日	美和パフォーマンス英語クラブ AFCイナミダンスチーム	2月26日	Berjalan、flower fairy、CAIPIRINHA (ラジオ放送のみ)
9月25日	メルシー保育園 ダンシングチームKIRARA	3月26日	おとぎばこ Csndy Storm (スポーツクラブアクトス)

③ グリーンモールとの連携事業

継続

内 容 加古川市別府町にあるショッピングモール「グリーンモール」で、月1～2回開催されるイベントに地元の市民活動団体をコーディネートした。これにより、企業が地域密着型で活動することへの支援と、市民活動団体の活動の拡充支援へとつなげた。

実施場所 グリーンモール加古川（加古川市別府町）



実施日・コーディネート団体・内容

実施日	コーディネート団体	内 容
4月18日	レクリエーションボランティア「じゃんけんぽん」	子どもの日に向けて オモチャ作り
5月2日	第10期こころ豊かな人づくり500人委員会東播磨ブロックおてだま	母の日に・・・マグネット作り

5月8日	mama's スクラップブック	母の日に・・・スクラップブックカード作り
6月12日	じぞう庵	父の日に・・・石ころアート
7月19日	EARTHくらぶ わ!わ!わ!	ブーメランを作って遊ぼう!
8月15日	NPO法人 高砂キッズスペース	皮細工体験 (指人形かプレスレット)
9月12日	協同組合 もりの木ネットワーク	ペーパースタンド or 組み木のコースター
10月9日	地域の環境福祉活動グループ'みずばしょう'	竹細工で作るカニorバツタorカエル
10月30日	日本折紙協会加古川支部 (おりひめ会)	Happy Halloween 折り紙でカボチャ&傘お化け作り
10月31日	アンサンブル・ムジーク	HALLOWEEN・・・こもりの指人形かキャンディースパイダーを作ろう!
11月23日	きのとり	どんぐりの置物とてんとう虫のブローチ作り
12月12日	Berjalan	アロマの香るクリスマスリース作り!
1月16日	ひまわり	英字新聞で作るかわいいエコバッグ!
2月20日	アトリエすまいりんぐはーと	パステル和アートで素敵な作品を作ろう!
3月21日	おちびのおてて	つまようじで掘る消しゴムはんこ♪

3. 市民参加型プロデュース事業

① The 加古川本「Kako-Style」企画・編集・発刊事業

新規

内 容 市民活動団体「すっきゃ加古川」とのコラボレーション事業として、「新・かこがわ事典」の改訂版を企画し、加古川の総合情報誌「Kako-Style (通称：かこ・スタイル)」の編集・発刊事業の事務局を担った。事務局機能以外にも、職員全員が取材チームに編入され、地域のさまざまな情報や人と接することを通じて、地元とのネットワークを作ることができた。また、編集過程で多くの市民と協働する仕組み作りが出来上がり、ふるさと意識と共に当事者意識の醸成にも寄与する事ができた。



発刊日 12月24日 (金) 発刊

発行部数 10,000部



4. 調査研究・政策提言

① NPO法人会計基準策定プロジェクトへの参加

継続

内 容 NPO法人への信頼性やアカウンタビリティ (説明責任) の向上がますます重要な課題となってきた中、全国のNPO支援センター79団体などからなる「NPO法人会計基準協議会」は、2010年7月にNPO法人会計基準を策定した。当法人も「NPO法人会計基準協議会」の一員として、NPO法人会計基準の普及啓発に向けて、勉強会や意見交換会を行った。
※兵庫県内における他の構成団体は、認定NPO法人市民活動センター神戸、NPO会計支援センター、ひょうごボランティアプラザの3団体。

② 兵庫自治学会での研究発表 新規

内 容 「東播磨生活創造センターの運営を通じたNPOと県の協働の取組についての実証研究」と題した小論文を発表した。委託事業として1年、指定管理者として1年半の運営の中で、指定管理者制度や公共施設のあり方に関する展望と問題点をまとめた。他施設の研究を行なうことができていないため、当該施設の運営を通じた所感の域を出ないが、NPO法人が都道府県の公共施設を指定管理者制度のもとで運営している例は全国的に見ても稀で、その意味では貴重な提言となった。

5. ふるさとコミュニティ・ビジネス創出支援事業～淡路～（兵庫県委託事業）

① NPO法人等の設立支援 継続

内 容 法人形態やマネジメント手法を含めたコンサルティングを行いながら、3団体の設立支援を行った。



設立月日・団体名・代表者名・主な活動分野

設立月日	団体名	代表者名	主な活動分野
8月20日	NPO法人淡路島活性化推進委員会	南岳克史	まちづくりの推進を図る活動他
9月21日	NPO法人さのよい	荒木俊介	まちづくりの推進を図る活動他
※（4月20日）	NPO法人淡路市国際交流協会	石井健次朗	社会教育の推進を図る事業他

※2011年4月20日にN

② アンダーカー・プロジェクト（キーパーソンの発掘） 新規

内 容 地域で活動する個人や団体を地域資源と捉え、地域内のどこに、どのようなコミュニティ・ビジネスの中核になる人物がいるのかを調査し、協働の相手、支援の対象者の個人・団体をデータベース化した。

発掘数 155件（個人・団体）

③ 淡路島ぐるぐる調査隊（地域資源の発掘調査） 新規

内 容 身近にある地域資源を、さまざまな目線と角度から再発掘するために、調査隊（3班6チーム）を編成し、発掘作業を行った。また、発掘した物をどのように磨くか、どのように活用するか等、企画会議を開催し、今後のコミュニティ・ビジネスのリソース作りを行った。

実施日・実施内容・実施場所・参加者数

実施日	実施内容	実施場所	参加者数
12月19日	発掘調査	洲本市文化体育館ほか洲本市内	16名
1月23日	取りまとめワークショップ	洲本市総合福祉会館	15名



II. 若者の市民社会への参加を推進し、そのために必要な支援を行う事業

1. 若者しごと倶楽部サテライト播磨の運営事業（兵庫県委託事業）

① 情報提供事業 継続

内 容 登録している相談者へ若者しごと倶楽部や関係機関の事業内容や就職に役立つ情報を提供するため、若者しごと倶楽部サテライト播磨通信を定期的に発行した他、新たな取組としてメールマガジンの発行やホームページ・ブログの開設を行った。

実施日 年末年始を除く毎日9時～17時

内容・利用者数

内 容	利用者数
ホームページの開設	アクセス数 5,081 件（6月～3月累計）
ブログの開設	アクセス数 2,510 件（6月～3月累計）
窓口フロアでの情報提供	来場者数 1,334 名
メールマガジンでの情報提供	配信数 248 件（6月～3月累計）
若者しごと倶楽部サテライト播磨通信の発行	発行部数 349 部（4月～3月累計）

② 相談業務 継続

内 容 就職までに必要な自己分析や就職における目標の設定を相談者と共に行い、下記のステップに（表1参照）に基づき段階的にサポートし、相談者が主体的に就職活動に取り組むことを支援した。

実施日 年末年始を除く毎日9時～17時

利用者 647名（男性462名、女性185名）



表1 キャリアカウンセリングのステップ

段階	0	1	2	3	4	5
キャリアカウンセリングの対応	他機関の紹介	信頼関係の構築、自己分析・自己理解、キャリアインサイト	目標設定	目標達成に向けた課題の特定	目標達成のための行動計画	フォローアップ
相談者の傾向	心理的に就職活動を行うのが難しい	自分に何が向いているかわからない	就きたい職業や方向性がある	就きたい職業や方向性のために何をすべきかを理解している	就職に向けての具体的な取り組み（面接を受ける等）をしている	就職進路決定

③ キャリアカウンセリングスーパーバイズ制度の実施 新規

内 容 キャリアカウンセリングやコーチングの専門家を招き、相談員のスキル向上を目的とした研修を行った。

実施日・内容・講師

実施日	内 容	講 師
5月28日	信頼関係の構築の仕方、自己分析	株式会社エムリンクス 宮本美智子氏
8月10日	コーチング講義、ロールプレイ	有限会社 Office Creation 國弘隆子氏
9月6日	ロールプレイ、振り返り	有限会社 Office Creation 國弘隆子氏
9月15日	ロールプレイ、振り返り	有限会社 Office Creation 國弘隆子氏
10月5日	GROW モデルの講義、ロールプレイ	有限会社 Office Creation 國弘隆子氏
11月4日	ロールプレイ、振り返り	有限会社 Office Creation 國弘隆子氏
12月8日	ロールプレイ、振り返り	有限会社 Office Creation 國弘隆子氏

④ 心理相談

新規

内 容 就職における悩みを解消し、相談者が安心して就職活動に取り組める環境をつくることを目的に、専門家による心理相談を実施した。

実施日 偶数月 第4水曜日 10時～15時30分（1回1人50分）

利用者 12名（男性11名・女性1名）

**⑤ 講座型スキルアップ事業の実施**

拡充

内 容 就職活動に向けた具体的なスキルを講座形式で学ぶことのできる機会を提供した。

**実施日・場所・内容・講師・参加者数**

実施日	場 所	内 容	講 師	参加者数
5月25日	加古川産業会館ビル	魅せる応募書類の書き方講座	大嶋啓史	15名
5月27日	加古川産業会館ビル	想いが伝わる面接の受け方講座	鍋田年康	12名
6月17日	東播磨生活創造センター	働き続ける力養成講座第1回	株式会社 PASIO 藤井哲也氏	12名
6月25日	東播磨生活創造センター	職業人に学ぶ講座 vol.1	衣笠仁浩	8名
7月21日	加古川産業会館ビル	働き続ける力養成講座第2回	株式会社 PASIO 藤井哲也氏	10名
8月25日	東播磨生活創造センター	働き続ける力養成講座第3回	株式会社 PASIO 藤井哲也氏	11名
9月25日	東播磨生活創造センター	職業人に学ぶ講座 vol.2	大嶋啓史他	12名
10月2日	東播磨生活創造センター	魅せる応募書類の書き方講座	鍋田年康	12名
10月2日	東播磨生活創造センター	想いが伝わる面接の受け方講座	國友留美子	12名
12月14日	加古川産業会館ビル	就職ガイダンス講座 Vol.1	大嶋啓史	5名
12月21日	加古川産業会館ビル	就職ガイダンス講座 Vol.2	鍋田年康	6名
1月14日	東播磨生活創造センター	働き続ける力養成講座第4回	平野園恵氏	14名
1月21日	東播磨生活創造センター	働き続ける力養成講座第5回	平野園恵氏	14名
3月1日	東播磨生活創造センター	職業人に学ぶ講座 vol.3	株式会社京ククル平瀬錬司氏	7名

⑥ 体験型スキルアップ事業「職業体験」の実施

新規

内 容 就職活動に向けた具体的なスキルを実際の職場で仕事を体験しながら学ぶことのできる機会を提供した。

利用者 5件



2. 男女共同参画センターとの連携事業

① 就職フェアの開催

継続

内 容 男女共同参画センター、ハローワーク加古川、生きがいしごとサポートセンター播磨東との連携による合同面接会及び個別相談会を開催した。



実施日・場所・内容・参加者数

実施日	場 所	内 容	参加者数
7月23日	加古川産業会館ビル	女性のための就職応援会	140名
11月17日	加古川産業会館ビル	女性のための就職応援会	44名

3. その他の機関との連携事業

① ひょうごしごと情報広場との連携事業

継続

内 容 ひょうごしごと情報広場と連携し、滞在化しているニート・ひきこもり状態の若者を掘り起こし、就職への意識啓発を行った。

実施日・場所・内容・参加者数

実施日	場 所	内 容	参加者数
2月19日	加古川産業会館ビル 他	やりがいシゴト発見ツアー	6名
3月5日	東播磨生活創造センター	自分にとっての「働く」を考えるセミナー	44名

② ニート支援機関ネットワーク会議への参加

継続

内 容 兵庫県しごと支援課が主催するニート・ひきこもりを支援する機関が集まってネットワーク化を図るための会議に参加し、意見交換を行った。

開催日・出席者

	開催日	出席者
第1回	6月14日	柏木登起
第2回	3月16日	柏木登起・大嶋啓史

③ ニート支援機関ネットワークセミナーへの参加

継続

内 容 兵庫県しごと支援課主催による「若年者支援団体の指導員のためのセミナー」が開催され、参加した。

開催日・内容・講師・出席者

開催日	内 容	講 師	出席者
11月11日	発達障害の理解と支援	ひょうご発達障害者支援センター和田康宏氏	大嶋啓史

Ⅲ. 公共施設の管理・運営事業

1. 東播磨生活創造センター「かこむ」の運営事業（兵庫県指定管理事業）

① 有料施設の利用許可業務 継続

内 容 主に東播磨地域で活動を行う団体に対して、センターの各施設の貸出業務を行った。年間の平均利用率は、56.2%であった。

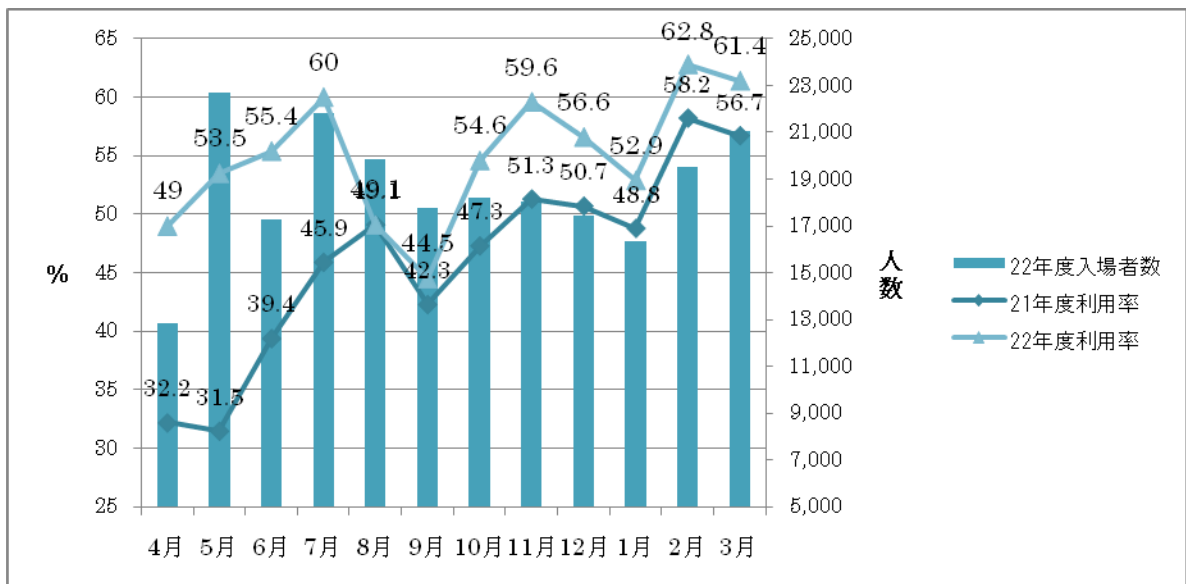
実施日 月～土：9時～21時、日・祝：9時～17時30分
(毎月第3日曜日、12月31日、1月1日・2日を除く)

有料施設 展示ギャラリー、講座研修室、創作工房（料理・工房）、会議室AB、スタジオAB、音楽スタジオ

利用者 63,723名



表1 2010年度有料施設の利用率及び入場者の推移



② 情報コーナーの運営業務

■ ホームページの運営 継続

内 容 センターの認知度を高め、広くセンターの講座やイベント等を告知するために、ホームページを開設し、随時更新をした。

実施日 年末年始を除く毎日9時～17時

内容・利用者数

内 容	利用者数
アクセス数	29,584件
イベントカレンダーの利用数	214件

有料施設のWEB予約	613件
ホームページ更新回数	379回

■ 図書・資料コーナー、DVD・ビデオコーナー、インターネット・パソコンコーナーの運営

継続

内 容 『情報の受発信基地』を基本コンセプトとし、生涯学習、地域づくり活動等の生活創造活動に関する情報とそれを求める人の行き交う施設となるよう、各コーナーを運営した。

内容・利用者数

内 容	利用者数
図書・DVD在庫数	8,888冊
図書コーナー利用者数	2,620名
DVDコーナー利用者数	392名
インターネットコーナー利用者数	2,901名
パソコンコーナー利用者数	2,001名



■ 広報誌「プリユかこむ」の発行

継続

内 容 センターの認知度を高め、広くセンターの講座やイベント等を告知するために、後追い記事ではなく、情報告知の記事やイベントカレンダーに力点を置いた誌面を作成し、隔月で発行した。

発行日 奇数月の15日

発行部数 年間合計24,500部



■ メールマガジンの配信

内 容 身近な携帯電話やパソコンのメールで効率よく講座やイベントの案内を受け取れるようにするため、月2回登録者へメールマガジンを配信した。

配信日 毎月1日・15日

配信者数 のべ9,605件 (2011年3月31日現在の登録者数596名)

③ グループ活動の支援業務

■ 相談業務

継続

内 容 生活創造・地域づくり活動の活性化を目的とし、様々な相談に対応した。徐々に町内会や自治会等からの相談も増えてくるようになり、利用者の幅が広がったことが特徴と言える。

相談件数 年間222件

■ コーディネート業務

継続

内 容 様々な団体及び人をつなぐ中間的役割を担い、マッチングすることによって、それぞれの活動の活性化を促進した。コーディネートに対応できる職員の人数が大幅に増えたため、幅広いニーズ

に対応が可能となった。

コーディネート件数 年間85件

■ グループ活動支援施設の運営 **継続**

内 容 地域づくり活動を行う団体に対して、各団体の活動を支援するために施設を無料で貸出した。徐々に利用率も向上している。

施設名・利用回数・利用者数

施設名	利用回数	利用者数
グループ活動ブース	1,049回	4,726名
映像編集室	36回	100名
印刷製本室	910回	1,464名
和室	119回	588名
保育ルーム	196回	1,848名

■ 多目的パフォーマンススペース「たばす」の運営 **継続**

内 容 地域で活動する様々な団体が日ごろの活動を発表できる場として、無料で貸出した。

利用件数 205件（うち主催件数30件）

■ グループ登録制度「かこむ倶楽部」の運営 **継続**

内 容 グループ登録することにより、施設利用の優遇措置や活動のバックアップが受けられる制度を作り、活動の幅を広げる支援を行った。

登録数 308団体 うち特別有料会員（年会費3,000円）37団体

④ 学習機会の提供業務

■ スキルアップセミナーの開催 **継続**

内 容 生活創造や地域づくり活動をする団体や市民がスキルアップすることを目的に、具体的なスキルを身につけるためのセミナーを開催した。



実施日・内容・講師・参加者数

実施日	内 容	講 師	参加者数
6月12日 6月19日	コロコロ心アップセミナー	すぺーす逢水田恵美氏	66名
4月13日他11日	花と緑の教室	兵庫県立フラワーセンター職員	304名
6月22日他1日	花と緑の特別実習教室 「庁舎を飾る園芸ボランティア実習」	兵庫県立フラワーセンター文堂良男氏	34名
12月24日	播州弁ちょっといい話	播州弁研究会会長井上四郎氏	125名

■ 参加型自主企画セミナー「あなたが創る★かこむ講座」の開催 拡充

内 容 グループ登録制度「かこむ倶楽部」の登録団体からの公募により、団体独自で企画・準備・運営を行う参加型のセミナー「あなたが創る★かこむ講座」を開催し、団体のスキルアップを図った。

実施日・内容・講師・参加者数

実施日	内 容	講 師	参加者数
4月7日	ママの料理教室	おちびのおてて	46名
4月25日	上手なサークル運営の仕方	ENDEVER	1名
4月27日	ひよっとこ踊り	サンキュー一座	19名
5月12日	人生のたな卸し	ひまわり	15名
5月25日	おいしいハーブティーとバスフィズづくり	Berjalan	31名
6月5日	交流遊び 100 連発	ひょうご PW を推進する会	27名
6月29日	3B 体操 (①成人・②親子)	3B 体操ちゃお♪	①20名 ②32名
7月3日	蜜蝋シートを使ってキャンドル作り	アンサンブル・ムジーク	52名
7月27日	スクラップブックで作品作り	アトリエすまいりんぐはーと	7名
8月1日	魏志倭人伝にみる邪馬台国と卑弥呼	日中友好協会加古川支部	73名
8月14日	就職アクティブプランニング講座	プロマテ	10名
9月12日	Harb 石けん作り	ロッキーズ	34名
9月18日	天使のセラピスト講座	アロマボランティアなかよしの森	12名
10月11日	糸紡ぎ体験	アンサンブル・ムジーク	50名
10月16日	おはなし音楽会・秋	アンサンブル・ムジーク	95名
10月30日	マジックと傘踊り	サンキュー一座	18名
11月28日	日中ふれあいコンサート	日中友好協会加古川支部	110名
12月18日	お菓子で創る魔女の家	アンサンブル・ムジーク	75名
12月23日	おはなし音楽会・冬	アンサンブル・ムジーク	70名
1月27日	美味しいピザ作り	加古川友の会	24名
1月29日	新感覚★婚活カフェ	働く女性の交流会「brillant」	6名
2月6日	子育て応援フェスタ	ほっぺに chu	116名
3月2日	骨盤矯正ウォーキングエクササイズ	Berjalan	25名
3月19日	スタイルアップフラメンコ	フラメンコダンスサークル La*Fuente	11名

■ 参加型自主企画セミナー「あなたが創る★かこむイベント」の開催 新規

内 容 グループ登録制度「かこむ倶楽部」の登録団体からの公募により、団体独自で企画・準備・運営を行う参加型自主企画イベント「あなたが創る★かこむイベント」を開催した。複数団体の協働開催を条件とすることによって、他団体との交流を図ることができるようにつなげた。

実施日・内容・講師・参加者数

実施日	内 容	講 師	参加者数
5月29日	親子・家族・三世代でふれあいサポート DAY	おちびのおてて	90名

7月4日	Music Book ～おはなし音楽会～	アンサンブル・ムジーク	110名
8月8日	Let's エンジョイ コンサート	SOMETIME	160名
10月30日	夢を形にマジックと傘踊り	サンキュー一座	18名
11月28日	日中ふれあいコンサート	日中友好協会	110名
1月30日	ハートフルコンサート	NPO 法人まちづくりアライアンス	50名
3月13日	気功&花架拳ドリームコラボ	ゆうゆう気功倶楽部	106名

■ 生活創造博「かこむ創造フェスタ2010」の開催 拡充

内 容 日頃施設を利用して下さる登録グループが中心となり、実行委員会形式で開催する総合パフォーマンスの発表会。今年度からは子ども芸術大学を合わせて実施した。多くの登録グループが日頃の活動の成果を発表する場となった。



実施期間 7月19日～25日

実施日・内容・出演団体・参加者数

実施日	内 容	出演団体	参加者数
7月19日	絵画教室	加古川西高校美術部	21名
7月20日	デジカメの撮り方とフォトフレームづくり	写遊会・ぐる一ぶ架け橋	12名
7月21日	陶芸教室	いなみ野学園陶芸学	14名
7月22日	はにわくんづくり	いなみ野学園陶芸学	14名
7月23日	歩く！！ロボ☆コップ	考古学博物館	14名
7月24日	親子料理教室「手打ちうどん」	NPO 法人ぐる一ぶ架け橋創合文化村	16名
7月24日	音楽ステージ	16 団体	647名
7月25日	ダンスステージ	14 団体	1,415名
期間中常時	展示	—	699名

④ 協働事業の企画・実施

■ 東播磨市民活動フェスタ2010の開催 拡充

内 容 昨年度に引き続き、東播磨3市2町が地域ごとに開催していた市民活動をPRするイベントを「東播磨市民活動フェスタ」として集中させて実施した。事前に3市2町の代表者が集まって会議を開き、互いの事業内容に関して意見交換をする中で、交流を深めることができた。また、今年度の新たな取り組みとして、市民活動応援ソングの募集、オープニングセレモニー、市民活動行脚等の企画を盛り込み、東播磨の市民活動の普及啓発に努めた。



実施日・地域・内容・開催場所

実施日	地 域	内 容	開催場所
11月5日～11月7日	加古川市	ボランティアメッセ 2010	ニッケパークタウンセンタープラザ

11月3日	稲美町	第8回社協福祉ボランティアまつり	障害者ふれあいセンター
11月14日	高砂市	みんなの社協フェア 2010	文化会館
11月20日～21日	播磨町	第3回きせ川はりまの集い	播磨町蓮池小学校
11月27日	明石市	第5回あかし市民活動見本市	明石市立勤労福祉会館

■ いなみ野学園との連携 拡充

内 容 兵庫県生きがい創造協会が運営する高齢者大学「いなみ野学園」と連携した事業を実施した。また、高齢者大学に在籍する方々への当法人の活動のPRを行い、今後の連携へつなげた。

実施日・内容

実施日	内 容
7月1日～7日	いなみ野学園絵画クラブ 展示会
7月8日～11日	いなみ野学園氷丘 OB 会碩保会水墨画展
7月21日	かこむ創造フェスタ 2010 & 子ども芸術大学 陶芸教室
10月4日	いなみ野学園川柳部 川柳大会
7月1日～7日	いなみ野学園絵画クラブ 展示会

■ 自主事業の企画・実施 拡充

内 容 東播磨生活創造センター「かこむ」指定管理事業の一環として、生活創造活動や地域づくり活動に関連した下記のような自主事業を実施した。

実施日・内容・詳細・利用件数

実施日	内 容	詳 細	利用件数
常時	有料コピー及びプリントアウトサービス	有料コピー機の設置	—
常時	かこむファン倶楽部事業	ポイントカードの発行	1456名
常時	地元イベントプレイガイド	チケットの代行販売	12件
常時	事務局代行業務	印刷代行、イベント受付代行等	212件
常時	ガチャガチャ PON 大作戦	播州弁、地域ゆるキャラの缶バッジ販売	—
5月29日	パーソナルカラー診断講座	自分に似合うカラー探し	17名
6月25日	ヘアアレンジ実習講座	髪の毛のアレンジ方法の実習	10名
7月31日	メイクアップ講座	好感度 UP のメイク実習	21名
7月25日	淡路片を使った手作りハンバーガー親子教室	食生活の意識啓発と淡路島の PR を目的とした親子教室	21名
11月6日	男の料理教室～気軽にできる台所料理～	男性の定年後の生活力アップを目的とした料理教室	16名



IV. 社会企業家の支援並びに職業紹介事業

1. 生きがいごとサポートセンター播磨東の運営事業（兵庫県補助事業）

① 情報提供事業 継続

内 容 ホームページやリーフレットを活用し、コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの普及啓発を行った。

実施日 日曜日、年末年始を除く毎日9時～17時

内容・利用者数

内 容	利用者数
ホームページの運営	アクセス数 9,352 件（4月～3月累計）
ブログの開設	アクセス数 3,967 件（4月～3月累計）
窓口フロアでの情報提供	来場者数 815 名
生きサポ通信の発行	発行部数 1,000 部（4月～3月累計）
ホームページの運営	アクセス数 9,352 件（4月～3月累計）

② 相談業務 継続

内 容 コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスに関する立ち上げの相談や運営に関する相談に対応することで、安定した事業展開ができるよう促した。また、解散相談にも対応し、法人を維持するより無理のない形で活動が継続できるようサポートした他、福祉分野のアドバイザーを交えた専門的相談の中で、障害者自立支援法に基づく新体系への移行支援を行った。



実施日 日曜日、年末年始を除く毎日9時～17時

内容・利用者数・成果

内 容	利用者数	成 果
起業相談	211 件（4月～3月累計）	起業団体数 12 団体
運営・解散相談	293 件（4月～3月累計）	雇用創出数 84 名 解散団体数 1 団体
専門的相談	15 団体（相談登録団体数）	障害者自立支援法に基づく新体系への移行件数 5 団体

③ コミュニティ・ビジネスセミナーの開催 継続

内 容 コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスに関する基本的な知識を習得するための入門講座を開催し、コミュニティ・ビジネス等の普及啓発を行った。



実施日・場所・内容・講師・参加者数

実施日	場 所	内 容	講 師	参加者数
9月18日	東播磨生活創造センター	コミュニティ・ビジネス入門講座	石川 正	12名
3月12日	加古川産業会館ビル	若手起業家が語る！事業運営のコツと課題	株式会社坂ノ途 中野邦彦氏	8名

④ 実務講習会の開催 拡充

内 容 コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスを行なっている事業所に対して、安定した事業展開を図るために、具体的な実務を身につけるためのセミナーを開催した。

実施日・場所・内容・講師・参加者数

実施日	場 所	内 容	講 師	参加者数
5月8日	東播磨生活創造センター	NPO 事業報告ノウハウ講座	柏木登起	12名
10月5日	東播磨生活創造センター	組織マネジメント講座 Vol.1	場とつながりラボ home's vi 嘉村賢州氏	18名
10月19日	東播磨生活創造センター	組織マネジメント講座 Vol.2	場とつながりラボ home's vi 嘉村賢州氏	18名
2月18日	東播磨生活創造センター	リーダーのための組織内活性化セミナー	NPO 法人しゃらく 小倉譲氏	14名
3月29日	加古川産業会館ビル	NPO 法人事業報告書ノウハウ講座	李 貫一	7名

⑤ 無料職業紹介事業 継続

内 容 就職成立後も働き続けることが重要であるとの観点から、人材が定着するマッチングを強く意識し、教育的要素を取り入れた人材教育型の職業紹介を行った。

実施日 日曜日、年末年始を除く毎日9時～17時

利用者数 就職希望新規登録者96名（就職成立者数35名）

**⑥ ミニ就職フェアの実施** 新規

内 容 コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネス等の就職・転職フェアを実施することにより、就業者とのマッチングを含め、地域のCB等の普及啓発と地域課題の発掘を行った。

実施日・場所・テーマ・講師・来場者数・求人団体数・インターン受入団体数

実施日	場 所	テーマ	来場者数	求人団体数	インターン受入団体数
7月30日	東播磨生活創造センター	NPO 就職・転職説明会	47名	23団体	28団体
2月6日	東播磨生活創造センター	NPO で働く！説明会	58名	45団体	61団体

⑦ 社会貢献ビジネス留学「NPOインターンシッププログラム」の実施

新規

内 容 コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネス等を行っている団体へ、インターン生として、若い世代からシニア層までの幅広い世代の関心ある人々のコーディネートを行った。

利 用 者 18名

受入団体 14団体



⑧ 交流機会「起業塾×運営塾」の提供・運営

新規

内 容 個別の相談に対応するだけでなく、「日常問題を団体同士で解決していけるような関係」を作っていくことが運営基盤の強化に繋がると考え、団体が意見交換できる場を設けた。

実施日・場所・ゲスト・参加者数

実施日	場 所	ゲスト	参加者数
11月30日	東播磨生活創造センター	NPO 法人高砂キッズ・スペース竹内茂雄氏	13名
1月11日	東播磨生活創造センター	NPO 法人みつくす神尾由美氏	9名
2月1日	東播磨生活創造センター	NPO 法人フリーヘルプ西本精五氏	11名
3月1日	東播磨生活創造センター	NPO 法人しゃらく須貝静氏	8名

⑨ 生きがいしごとサポートセンター10周年記念合同事業

新規

内 容 生きがいしごとサポートセンター開設10周年を記念して、県下6ヶ所のセンターが合同で記念フォーラムを開催した。

実施日・場所・内容・講師・参加者数

実施日	場 所	テーマ	講 師	参加者数
8月21日	神戸市勤労会館	「幸せな働き方を考える」	法政大学教授坂本光司氏	280名

2. 団塊世代の元気推進事業「シニアカレッジ見学会」の実施

① 「生きがいあるシニアライフを送るためのバスツアー-これからの生き方をデザインする旅-」

新規

内 容 これからの生き方を自らがデザインし、生き活きとした輝きある人生を送ることができるよう、今までの自分自身を振り返り、いなみ野学園での生活や、実際に地域で活動している方々の話にふれ合うことのできるバスツアーを実施した。

実 施 日 1月28日

訪 問 先 NPO法人エンカーレッジハウスのこのこ溝之口
いなみ野学園オープンキャンパス
ファミリーファーム

参加者数 14名

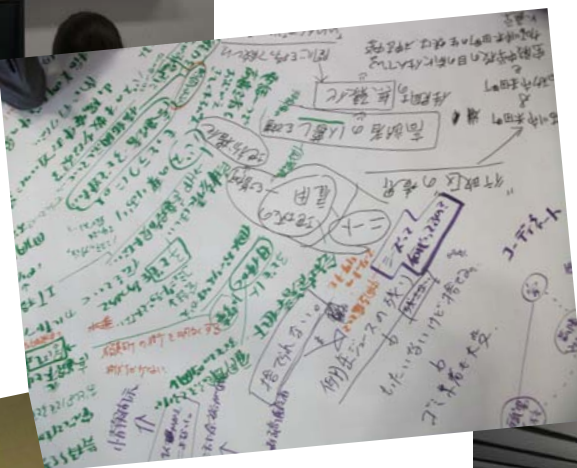
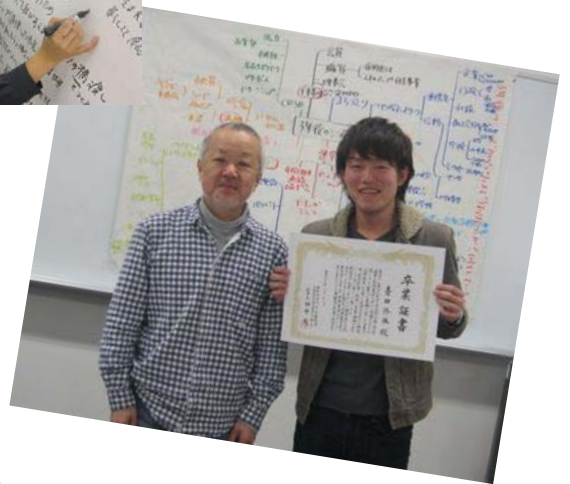


3. 生きがいごとサポートセンターによる就職促進事業（兵庫県委託事業）

① 求人開拓事業 継続

内 容 生きがいごとサポートセンターの無料職業紹介事業を促進させるため、求人開拓員を配置し、コミュニティ・ビジネス起業団体等の求人を開拓し、求職者との就業マッチングを行った。

実施期間 4月1日～3月31日



組織運営体制

I. 会議

1. 総会

① 2009年度 第8期 通常総会

開催日 5月21日 19時～21時

開催場所 東播磨生活創造センター「かこむ」会議室B

出席者 15名（うち表決委任者11名） ※正会員総数26名

議事内容 2009年度（第8期）事業報告、決算報告の承認
2010年度（第9期）事業計画、収支予算の決定
役員の変更

2. 理事会

2010年度は2009年度に引き続き、理事会を組織の運営体制に関する具体的な内容を検討する運営理事会と理事だけでなく、監事、相談役、顧問も含めた事業の進捗状況を確認するための全体理事会の2段体制とした。

① 運営理事会の開催

開催場所 いずれも法人事務所

開催時間 いずれも19時～21時

回・開催日・議事内容

回	開催日	議事内容
第1回	4月13日	2010年度事業計画・収支予算（案）、活動報告会について
第2回	5月12日	総会資料について、ひょうごボランティアプラザ「交流サロン」事業受託について
第3回	6月21日	ガチャガチャPON大作戦について、「予約システム」改良について
第4回	7月23日	綱領について、会計処理について、評価シートについて
第5回	8月17日	無料職業紹介事業について、会計処理について
第6回	9月16日	2010年度下半期の方向性について
第7回	10月12日	人材採用について、サイボウズ契約について、違算処理について
第8回	11月16日	下半期の方向性について、かこむ倶楽部ホームページについて、人材について
第9回	12月22日	兵庫県立大学との連携事業について、マネージャー合宿について、全体研修について
第10回	1月20日	第9期決算の方向性について、今後2～3年後の方向性について、2011年度の方向性について
第11回	2月17日	第9期決算の方向性について、期末賞与について、中期計画について、2011年度組織運営体制について
第12回	3月24日	2011年度の事業計画について、2011年度の基本方針について、職員運営体制について

② 全体理事会の開催

開催場所 いずれも東播磨生活創造センター「かこむ」会議室

開催時間 いずれも19時～21時

回・開催日・議事内容

回	開催日	議事内容
第1回	5月21日	2009年度事業報告・決算報告について、2010年度事業計画・収支予算について
第2回	8月27日	各部署現状報告、東播磨市民活動フェスタチラシ印刷について
第3回	11月25日	各部署現状報告、かこむ倶楽部ホームページについて
第4回	2月28日	各部署現状報告、2010年度事業報告・決算報告概要について、2011年度事業計画概要について、理事会のあり方について

3. マネージャーミーティング

原則毎週1回2～3時間程度、マネージャー間でのミーティングを実施し、理念の共有及び各事業の進捗状況の確認を行った。



4. マネージャー合宿

開催場所 三木ホースランドパーク

開催日 2月13日・14日

検討内容

- セッション① 『3年後のシーズ加古川はどうありたいか？何をしているか？』
- セッション② 『現状を再認識するためのSWOT分析』
- セッション③ 『3年後のシーズ加古川を目指すために、23年度・24年度は何が必要か？』
- セッション④ 『23年度の具体的な事業戦略』
- セッション⑤ 『23年度の基本方針（コンセプト）は何か？』
- セッション⑥ 『23年度の具体的な人材育成戦略』

4. その他の会議

まちづくりチーム担当及びひとづくりチーム等部署ごとに定期的にミーティングを実施し、職員間の情報共有及び意見交換を行った。

II. 会員

2011年3月末現在の会員数

会員種別		口数
正会員	個人	29
	法人・団体	10
賛助会員		36
合計		75

Ⅲ. 役員

2010年5月27日の通常総会にて、新たに理事に柏木登起氏、監事に高橋逸氏が6月1日より就任となった。

2011年3月末現在の役員

役名	氏名
理事長	田中 茂
副理事長	香川 憲夫
副理事長	衣笠 仁浩
理事	神田 信弘
理事	市位 壽宏
理事	川端 建一郎
理事	田代 恭也
理事	中村 義弘
理事	増田 芳樹
理事	柏木 登起
監事	堀田 照夫
監事	高橋 逸
相談役	根本 敏行
相談役	船本 博一
顧問	落合 英樹
顧問	高田 良彦

Ⅳ. 事務局

2010年度は、組織体制として、東播磨生活創造センター「かこむ」指定管理事業を中心とする「まちづくりチーム」若者しごと倶楽部サテライト播磨運営事業及び、生きがいしごとサポートセンター播磨東運営事業を中心とする「ひとづくりチーム」の2本柱で各事業を実施した。職員体制としては、下記の通り。

2011年3月末現在の職員

区分	氏名及び役職	部署
常勤	柏木 登起 (事務局長)	全体統括
	王 茂厚 (マネージャー)	まちづくりチーム
	大嶋 啓史 (マネージャー)	ひとづくりチーム
	李 貫一 (マネージャー)	まちづくりチーム
	柏木 輝恵 (サブマネージャー)	ひとづくりチーム
	池田 泰憲 (サブマネージャー)	まちづくりチーム
	國友 留美子	ひとづくりチーム
	舟引 道之	まちづくりチーム
	阪口 努	ひとづくりチーム
	山口 久仁子	淡路担当スタッフ
	西川 亜希子	淡路担当スタッフ

	藤田 雅史	ひとづくりチーム
	石川 正 ('10年7月～)	淡路担当スタッフ
	妹尾 勇希 (～'11年1月)	まちづくりチーム
	松本 光世 (～'11年1月)	淡路担当スタッフ
	原田 至康 (～'10年5月)	淡路担当スタッフ
	津田 裕昭 ('11年3月～)	ひとづくりチーム
非常勤	畠 由美	まちづくりチーム
	鍛冶 秀郎	まちづくりチーム
	佐藤 和子	総務担当
	東 美輪	まちづくりチーム
	萬山 弓起	まちづくりチーム
	朴木 哉子	まちづくりチーム
	鍋田 年康	ひとづくりチーム
	青田 修伍 ('10年4月～'11年2月)	まちづくりチーム
	平田 由佳子 ('10年6月～)	まちづくりチーム
	藤本 彩 (～'10年5月)	まちづくりチーム

5. 組織内研修に関する事項

① 職員全体研修

開催場所 東播磨生活創造センター「かこむ」他

開催時間 いずれも8時30分～17時30分

回・開催日・研修内容



回	開催日	研修内容
第1回	4月18日	兵庫県立考古博物館、うるおい交流館エクラ、加西市地域交流センター視察バスツアー
第2回	6月20日	シーズ加古川のミッションにもとづく唱和の文句づくりワークショップ
第3回	7月18日	広報セミナー、接遇マナー研修
第4回	9月19日	総合的の中間支援組織について、2010年度基本理念・上半期の振り返りワークショップ
第5回	10月17日	TA (交流分析) による組織・個人が活性化するセミナー (講師: Halo ビジネストレーニング&メンタルヘルス 白坂和美氏)
第6回	12月19日	下半期の方針についてチーム別振り返り
第7回	1月16日	マナー研修～実りある協働を目指して～ (講師: 有限会社Office Creation 國弘隆子氏)
第8回	2月20日	マネージャー合宿報告～3年後のシーズ加古川は?～、3年後のシーズ加古川のビジョンを実現するための事業戦略を考えるワークショップ
第9回	3月20日	「活動報告会」のプログラムを考えるワークショップ、23年度の基本方針

② 役員・職員・会員向け勉強会「シーズ加古川塾」

内 容 「10年先のビジョンが描ける法人体制作り」を目指して、2010年1月から役員及び職員、会員向けの勉強会・討論会を開催した。

開催場所 東播磨生活創造センター「かこむ」会議室

開催時間 いずれも18時30分～21時

回・開催日・講師・テーマ

回	開催日	講 師	テーマ
第3回	4月23日	柏木登起（事務局長）	修士論文発表「NPOは多元社会を超えられるか」
第4回	6月28日	今田忠氏（市民社会研究所所長）	企業のCSR活動
第5回	7月29日	今田忠氏（市民社会研究所所長）	中間支援組織について
第6回	9月29日	松本誠氏（市民まちづくり研究所所長）	地方分権と市民自治の系譜～歴史的転換期を振り返る
第7回	10月26日	松本誠氏（市民まちづくり研究所所長）	地方自治と住民自治の現状と課題
第8回	12月21日	松本誠氏（市民まちづくり研究所所長）	参画・協働と自治、議会基本条例
第9回	1月25日	松本誠氏（市民まちづくり研究所所長）	市民自治の担い手と市民力向上の課題

③ その他の研修

開催日 随時実施

主な内容 相談対応のためのロールプレイ研修、NPO法人設立・運営相談の対応研修等を随時実施した。